

労働保険特別会計徴収勘定 平成18年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減		前年度	18年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	30	77	46	未払金	26	61	35
有形固定資産	0	1	1	前受金	4	15	10
物品	0	1	1	賞与引当金	0	0	△0
その他	0	0	0	退職給付引当金	19	16	△2
				負債合計	51	94	43
				< 資産・負債差額の部 >			
				資産・負債差額	△19	△15	4
資産合計	31	79	47	負債及び資産・負債差額合計	31	79	47

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
人件費	11	10	△1
退職給付引当金等繰入額	2	△0	△2
委託費等	0	0	0
保険料返還金	54	50	△4
その他	24	24	0
本年度業務費用合計	93	85	△7

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
前年度末資産・負債差額	△19	△19	0
本年度業務費用合計(A)	△93	△85	7
財源(B)	93	88	△4
その他	-	1	1
本年度末資産・負債差額	△19	△15	4

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
業務収支	30	77	47
財務収支	-	-	-
本年度収支	30	77	47
(業務収支+財務収支)			
資金への繰入等	-	-	-
資金残高等	-	-	-
本年度末現金・預金残高	30	77	47

労働保険特別会計の業務等の概要

- ・設置目的
労働保険料の徴収に係る政府の経理を明確にすること。
- ・業務内容
労働保険料及び印紙保険料に係る納付金等を歳入金として収納し、これを労災保険に係る分は労災勘定に、雇用保険に係る分は雇用勘定にそれぞれ繰り入れる。
- ・定員数 1,692人
- ・主な資金の流れ
事業主から労働保険料を収納し、これを労災勘定と雇用勘定にそれぞれ繰り入れる。また徴収業務に係る事務費を労災勘定及び雇用勘定から受け入れる。
- ・歳入歳出決算の概要(平成18年度)
歳入 4.1兆円 歳出 4.1兆円

主な科目の内容

1. 貸借対照表
 - ・現金・預金…日本銀行預け金
 - ・未払金…主に雇用・労災保険料に係る未払金
2. 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額 28億円